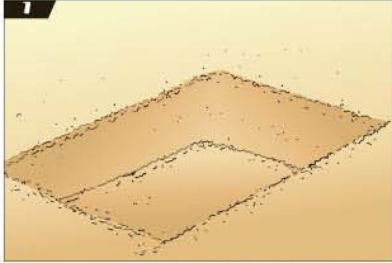
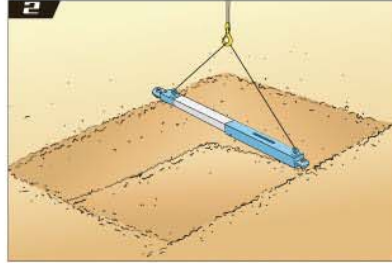


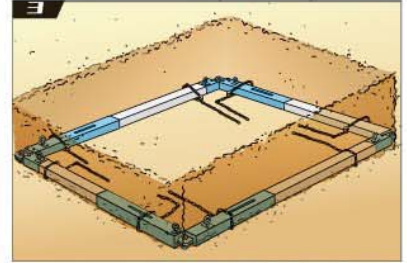
設置 手順



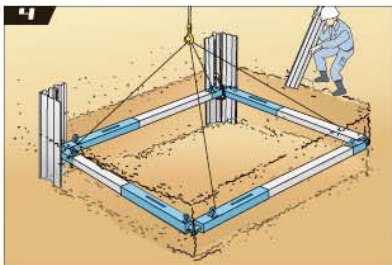
掘削深さ1000mm～1500mmまで素掘りを行います。



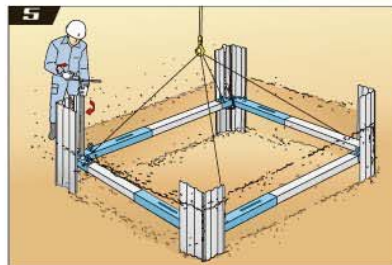
つっぱり名人を掘削幅より小さくなるようにラチェットレンチ(17mm)にて寸法調整(目安として掘削幅-100mm)を行い、素掘りした構内へ資材を入れます。



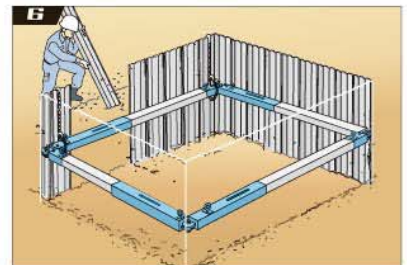
つっぱり名人4隅を専用連結ピンにて連結し、落下防止用フック付きチェーンをつっぱり名人に巻き付けます。



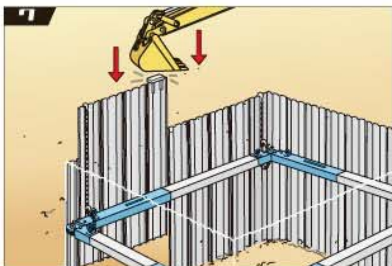
ワイヤーにて4点吊りを行い、GLから深さ1/2位の高さに吊り、4隅に親矢板を建て込み、落下防止用フック付きチェーンを親矢板に取り付けます。
※吊り荷の下には絶対に入らないでください。



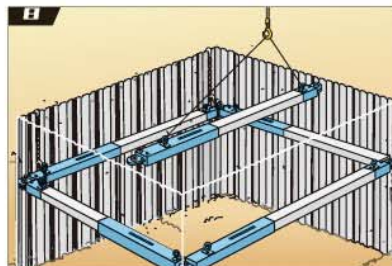
つっぱり名人を矢板へ軽く当たる程度に仮締めしワイヤを外します。



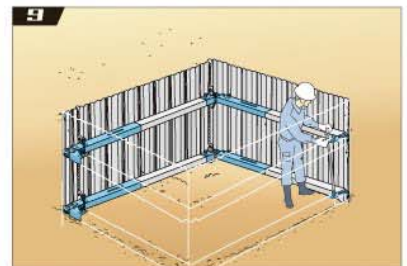
周囲に矢板を建て込みます。



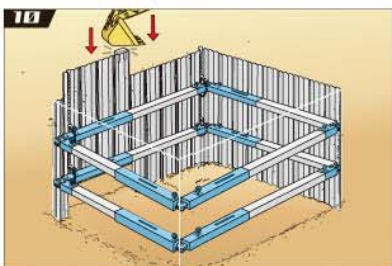
下段設置深さまで掘削し、周囲の矢板を落とし込みます。



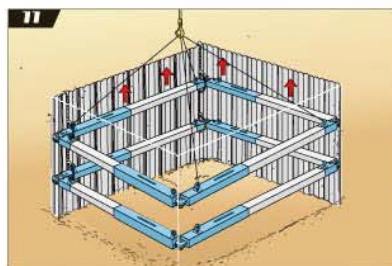
上段同様、下段に設置するつっぱり名人を掘削底面で連結します。



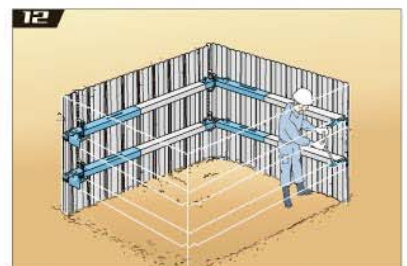
上段同様、落下防止用フック付きチェーンで固定し、つっぱり名人を仮締めします。



所定の深さまで掘削し、周囲の矢板を落とし込みます。

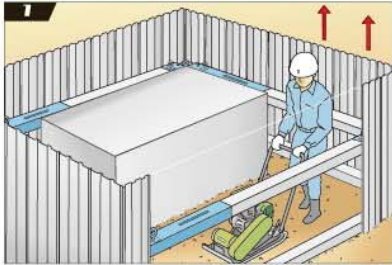


つっぱり名人の高さ調整が必要な場合は、4点吊りを行い高さ調整します。

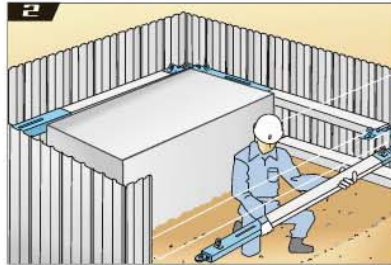


つっぱり名人をラチェットレンチ(17mm)にて段数分増し締めします。

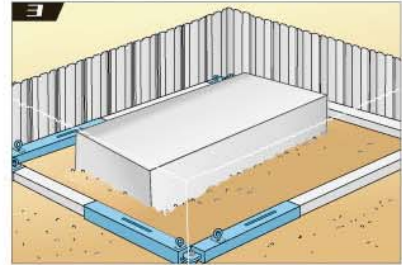
撤去
手順



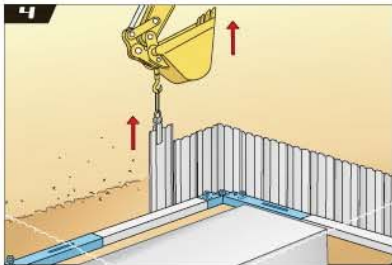
1 下段のつっぱり名人下まで埋め戻しを行い矢板を引き上げ転圧を行います。



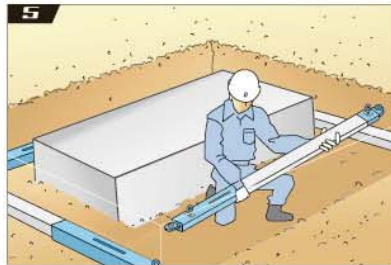
2 下段4隅の連結ピンを外し撤去します。



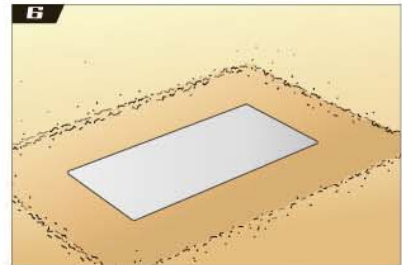
3 同様に上段のつっぱり名人下まで埋め戻しを行い転圧します。



4 矢板を撤去します。



5 つっぱり名人の4隅の連結ピンを外し撤去します。



6 GLまで埋め戻しを行い転圧し作業完了です。

注意事項

- ・掘削予定箇所の土質が軟弱で、地下水位が高く等好ましくない場合又は、周辺地域 への影響が大きいと予測される場合は工法手順又は安全性を配慮した工事を行ってください。
- ・故障が発生したり、異常のある場合は絶対に使用しないでください。
- ・動荷重が掛からないよう、矢板の背面には、必ず土砂で裏込めを行ってください。
- ・アルミ腹起し取付部は確実にボルト、ナットで固定してください。
- ・ねじれ防止、安全の為、水平に設置して使用してください。
- ・作業棒、ラチェットレンチ（又は電動ドライバー）を使用して全方向均等に締付けてください。
- ・撤去する場合は、伸縮部を締め圧力の掛かっていない状態で取り外してください。

